



[enocoについて] [事業紹介] [フロアガイド] [レンタルスペース]

お知らせ・プレス メルマガ登録 ニュースレター お問い合わせ アクセス

₹ Ø to 7.8~3.4

enocoの学校第4期

<u>トップ</u> >> イベント >> enocoの学校第4期

【受付終了いたしました】

enocoの学校第4期「ソーシャルデザイン入門コース]



enocoでは2013年から、Be Creative! 精神で、未来を素敵に変える人材を育成する講義シリーズ「enocoの学校」を開催しています。 enocoの学校は、既成概念にとらわれない自由で柔軟な、創造性豊かな発想や思考を学び、社会課題などに取り組む人を育てるプログラムです。多彩な講師陣を迎えて講義やワークショップを行うほか、社会課題解決の現場に実際に赴いてのフィールドワークや、受講生同士で行う自主ワークショップなどを重ねながら、社会課題を捉える力、課題解決のアイデア・企画を練る力を学び、創造的思考を武器に社会で活躍ことを目指す人たちの学びの場所です。ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスに携わりたい人、地域や行政などの様々な社会課題と向き合っている人などの参加をお待ちしています!

[enocoの学校第4期 受講生募集リーフレット]

◆ Backcasting ——素敵な未来から 今できることを考える—— ◆

世界的に見れば、こんなに経済は豊かなのに幸せを感じない日本人。 多くの世代がストレスを感じながら生きている。 社会も人も病んでいる。 解決すべき課題は、どんどん増え、多様化している。 一方、テクノロジーや科学の進歩は、想像を遙かに超え 遠いところにいってしまっている。 こんな時代にあって、過去の仕組みや概念、思考だけでは もはや社会課題は解決できない。

もっと大胆に、もっと創造的に発想していかなければならない。

そのためには、多彩な人々とのコラボレーションが必要になってくる。 「enocoの学校」には、実にオモロイ人材が集まってくる。 素敵な仲間と、ポジティブに大阪の未来を描いてみよう。

甲賀雅章 | enoco館長/enocoの学校 校長

◆ 募集概要 ◆

定員: 20名

対象:

講義の70%以上出席できる方(17回以上)出席できる方 ※オリエンテーションと最終プレゼンテーションへの出席は必須です。 18歳以上50歳以下の方 地域や社会を変えるために何か行動してみたい方 すでに行っている市民活動、社会活動をさらに発展させたい方 コミュニティビジネス、ソーシャルデザインを始めたい方 自主的、積極的に当コースの課題に取り組む事ができる方

など。

応募:

所定の応募用紙に必要事項、応募課題を下記の応募用紙に記入の上、メール・ファックス・郵送などで送付してください。
※入力フォーム/PDF形式/Word形式

企画、プレゼンテーションなどのスキルを磨きたい方

必要事項:氏名(ふりがな)

年齢 職業 住所 電話番号

メールアドレス

応募課題:

- 1. あなたが関心、注目している社会課題は? あるいは現在関わっている課題は?
- 2. その課題の解決アイデアは?

受講料:

30,000円

※初回オリエンテーション時に一括で徴収します(現金のみ)。

応募締切:

2016年6月27日(月曜日)締め切りいたしました。

※メール・ファックスの場合は27日19時まで

※郵送の場合は27日必着

※応募者多数の場合は、6月27日の募集締め切り後に抽選を行い、応募者に結果をお知らせいたします。

◆ 講師陣の紹介 ◆



甲賀 雅章 (こうが まさあき)|enoco館長/大道芸ワールドカップIN静岡プロデューサー

1951年静岡市生まれ。1985年株式会社シーアンドシー、1991年株式会社シーアイセンターを設立。 広義の意味でのデザイン、文化戦略を21世紀型経営の最重要資源として位置づけ、企業、組合、商店街、地方自治体等の活性化におけるコンサルティング活動を展開。1992年から大道芸ワールドカップIN静岡を立ち上げプロデューサーを務める。2009年地域・社会の問題をデザイン思考で解決すべく、ソーシャルデザイン研究所を設立。2011年6月静岡県榛原郡川根本町千頭、山間の里にCafe&Gallery「Ren」をオープン。2012年からはenocoの館長として企画運営に携わっている。





1966年大阪府生まれ。庭園をはじめ公園や広場、大学キャンパス、商業・集合住宅・病院などのランドスケープのデザインとプログラムを国内外で展開。また、パークマネージメント、タウンマネージメントを通して、地域の改善や魅力向上に様々な立場で関わっている。enocoのプラットフォーム形成支援事業を手掛けるとともに、民主導の水と光のまちづくり推進組織「水都大阪パートナーズ」のプロデューサーとして数々の事業の企画・運営を推進中。



兼松 佳宏(かねまつ よしひろ)|勉強家/京都精華大学人文学部 特任講師

1979年秋田市生まれ。ウェブデザイナーとしてNPO支援に関わりながら、「デザインは世界を変えられる?」

をテーマに世界中のデザイナーへのインタビューを連載。その後、ソーシャルデザインのための ヒントを発

信するウェブマガジン「greenz.jp」の立ち上げに関わり、10年から15年まで編集長。 2016年、フリーランスの勉強家として独立し、勉強空間をリノベートするプロジェクト「everyone's

STUDYHALL!」発起者として教育分野を中心に活動中。著書に『ソーシャルデザイン』、『日本をソーシャルデザインする』、連載に「空海とソーシャルデザイン」など。京都市在住、一児の父。



並河 進(なみかわ すすむ) | クリエイティブディレクター/電通ソーシャル・デザイン・エンジン代表

1973年生まれ。「nepia 千のトイレプロジェクト」、ユニセフ「世界手洗いの日」プロジェクト、「でしでし福島基金」など、社会課題を解決するためのソーシャル・プロジェクトを数多く手掛ける。東京工芸大学非常勤講師。受賞歴に、ACCシルバー、読売広告大賞、TCC新人賞など。著書に『下駄箱のラブレター』(ポプラ社)、『ハッピーバースデイ 3.11』(飛鳥新社)『Social Design 社会をちょっとよくするプロジェクトのつくりかた』(木楽舎)、『Communication Shift「モノを売る」から「社会をよくする」コミュニケーションへ』(羽鳥書店)他。

TEDxTokyo Teachers 2015スピーカー。2016年度グッドデザイン賞審査委員。



大南 信也(おおみなみ しんや)|特定非営利活動法人グリーンバレー理事長

1953年徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。1990年代初頭より神山町国際交流協会を通じて「住民主導のまちづくり」を展開。1998年に道路清掃プログラム「アドプト・ア・ハイウェイ」を全国に先駆けて実施するとともに、1999年「神山アーティスト・イン・レジデンス」などのアート事業を始動。2007年神山町移住交流支援センター受託運営を開始し、2010年10月以降ITベンチャー企業等13社のサテライトオフィスを誘致。「創造的過疎」を持論にグローバルな視点での地域活性化を展開中。ふるさとづくり有識者会議委員(内閣官房)、文化審議会文化政策部会委員(文化庁)、徳島大学客員教授、四国大学特認教授、東北芸術工科大学客員教授。



砂川 肇(すなかわ はじめ)|トレンド・スポッター/株式会社コンセプト代表

1946年生まれ。埼玉県出身。1972年、中央大学大学院法学研究科修士課程修了。出版社、シンクタンク勤務を経て、米国のビジネス動向を分析するトレンド・スポッターに。現在、㈱コンセプト、㈱都市民俗学会の各代表取締役。団塊問題研究所長も務める。著書に、『ビジネス・トレンドの予報学』『アメリカン・ライフスタイル』『「トレンド情報」活用術』など多数。新著に、『アイデア・エコノミー』(宣伝会議・刊)



西川 亮(にしかわ りょう)|デザイナー/NPO法人Co.to.hana代表

1986年大阪生まれ。神戸芸術工科大学を卒業後、NPO法人Co.to.hanaを設立。社会や地域の課題に対して、デザインが持つ「人に感動を与える力」、「ムーブメントを起こす力」、「人を幸せにする力」で解決を目指し活動。高校生のキャリア教育プログラム"いしのまきカフェ「」"やワークサポート施設"ハローライフ"でグッドデザイン賞。AERA/日本を突破する100人に選出。現在、NTTぶららが提供するオンライン「部活DO!」"地域創生部"で副部長を務める。

大谷 燠(おおたに いく)|NPO法人DANCE BOX エグゼクティブディレクター

大阪生まれ。1996年にDANCE BOXを立ち上げ、多数のコンテンポラリーダンスの公演、ワークショップをプロデュース。2002年8月NPO法人化し大阪市との公設置民営の劇場«Art Theater dB»を開設。2009年4月、神戸に拠点を移し、«ArtTheater dB 神戸»をオープン。Asia Contemporary Dance Festivalなど国際交流事業やアートによるまちづくり事業も多数行う。2008年に障がい者とアーティストが協働する「循環プロジェクト」を立ち上げ、現在まで国内外での公演を多数、実施する。また、大阪大学と京阪電気鉄道と共



に京阪なにわ橋駅の《アートエリアB1》を運営。2010年度 国際交流基金地球市民賞、2012年度 神戸市文化 奨励賞、長田文化賞、2015年KOBE ART AWARD受賞。神戸大学、近畿大学非常勤講師。

◆ カリキュラム ◆

関西内外から多彩な講師陣を迎えての講義・ワークショップのほか、社会課題解決の現場に実際に赴いてのフィールドワークや、受講生間での自主ワークショップなどを重ねながら、約半年間でチームごとの企画を練り上げ、一般公開のプレゼンテーションまでを行う、全21回のコースです。

今期のカリキュラムは右のとおりです(画像をクリックすると拡大します)。

※講師名の記載がない講座につきましては、校長・甲賀 雅章とenocoスタッフが担当いたします。

※止むを得ず講義日程、内容等を変更する場合があります。ご了承ください。



サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocoについて > 事業紹介	> お知らせ・プレスリリース > メルマガ登録		
指定管理者		>ニュースレター	^	
バナー広告募集	> レンタルスペース	> お問合せ > アクセス		
	ツイート			

Copyright © 2018 Enokojima Art, Culture and Creative Center, Osaka Prefecture. All Rights Reserved.